

弘前市の維持向上すべき歴史的風致

弘前市は、津軽の統一を成し遂げた藩祖為信が、この地に築城を計画し、まちの礎を築いて以来約400年に及ぶ歴史の中で、岩木山に代表される豊かな自然資源や弘前城を始めとした歴史的資源など多くの地域資源が蓄積されています。また、これらと一体となって繰り広げられる「弘前ねぷたまつり」、「お山参詣」といった人々の営みが、弘前市固有の歴史的風致を形成しています。

弘前さくらまつりにみる歴史的風致

弘前さくらまつりは、国指定史跡でもある弘前公園で行われ、重要文化財の天守、門、櫓や2,600本の桜を背景に催される大正期から続く伝統行事です。



弘前城と桜



大正期のさくらまつり

弘前ねぷたまつりにみる歴史的風致

弘前ねぷたまつりは、国の重要無形民俗文化財に指定されている伝統行事で、歴史的建造物が立ち並ぶ市街地を囃子と一体となって練り歩く伝統行事です。



勇壮なねぷた絵



ねぷたの運行

津軽伝統工芸職人たちにみる歴史的風致

津軽塗や津軽打ち刃物など藩政期から続く津軽の伝統技術が、城下町の至るところで受け継がれています。



津軽塗



津軽打ち刃物

お山参詣にみる歴史的風致

お山参詣は、津軽の人々にとってかけがえのないシンボルである岩木山に対する民間信仰行事で、国の無形民俗文化財に指定されています。



岩木山神社



百沢街道の松並木と参拝者

宵宮にみる歴史的風致

当市に多く残る寺社の祭礼として行われる宵宮は、夏の風物詩として定着しており、関連して行われる津軽獅子舞などの伝統芸能が受け継がれています。



最勝院五重塔



津軽獅子舞



弘前惣御絵図(元禄11年)

弘前市の重点区域における施策・事業概要

弘前市では、弘前城が築城から400年を迎えることを契機に、本丸石垣の改修、鷹揚公園の整備、旧第八師団長官舎の保存修理などのハード事業や、津軽塗技術の保存伝承などのソフト事業を実施し、また、景観計画や都市計画の活用による歴史的資源の周辺環境の保全を図ることで、弘前市固有の歴史的風致を後世に継承するまちづくりを推進します。

弘前城本丸石垣整備事業 ・ 鷹揚公園整備事業

園内施設の老朽化が進む鷹揚公園（弘前公園）の整備と弘前城本丸の石垣修理及び天守の保存修理の実施により、「弘前さくらまつり」に見る歴史的風致の維持向上を図ります。



弘前城天守

伝統的建造物群保存地区地方道改修事業

仲町伝統的建造物群保存地区内の無電柱化及び消流雪溝を整備することにより、鷹揚公園と一体となった良好な景観形成及び回遊性の向上を図ります。



仲町伝統的建造物群保存地区

旧第八師団長官舎保存修理事業（登録有形文化財）

旧第八師団長官舎は、鷹揚公園・追手門向かいに位置しており、「弘前ねぷたまつり」の背景となっている建物ですが、老朽化が著しいため改修工事を実施し、保全を図ります。



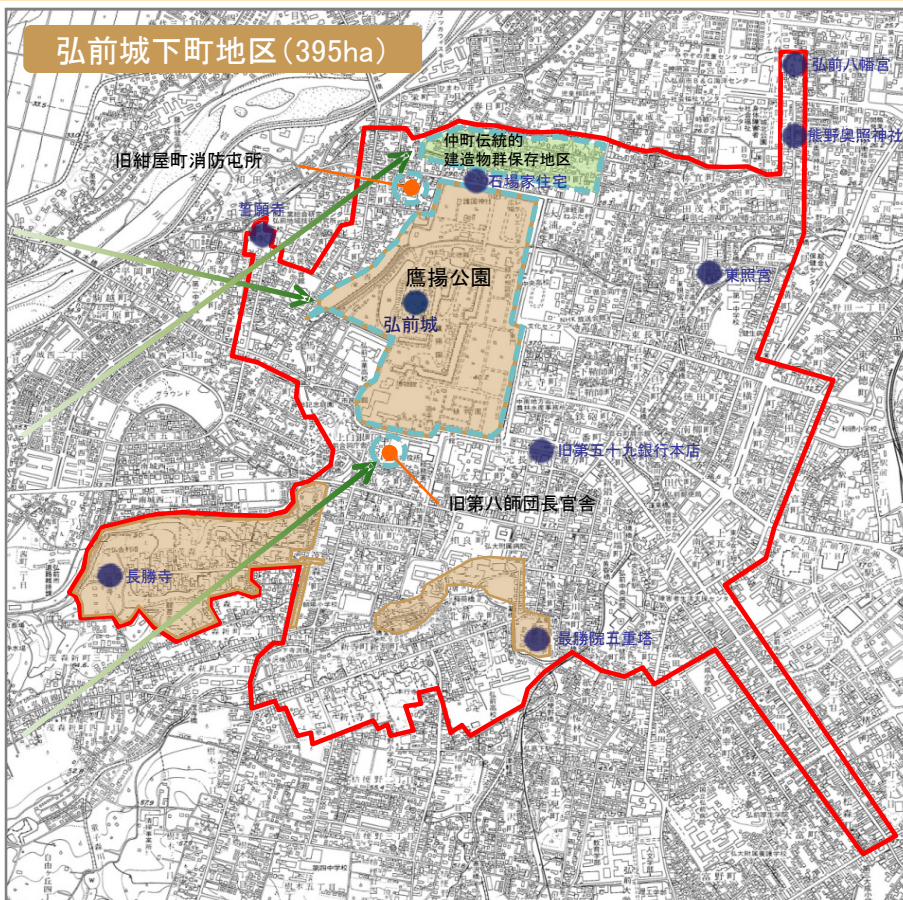
旧第八師団長官舎

津軽塗技術保存伝承事業

津軽塗技術の研鑽及び後継者育成に必要な経費の一部を補助することにより、「津軽伝統工芸職人たちに見る歴史的風致」の継承を図ります。



漆採取技術研修



景観形成に関する施策

○景観計画（平成23年度策定予定）
・景観形成重点地区の指定による歴史的景観の保護
・重点区域「岩木お山参詣地区」を含む岩木山の眺望景観の保全

○屋外広告物
文化財周辺の屋外広告物に関する規制の強化（景観計画に即して市独自条例を制定予定）

○都市計画
城下町時代の町割りや道路形態に配慮した都市計画道路の見直し

その他の計画掲載事業

- ・旧紺屋町消防屯所保存修理事業
- ・岩木地区案内板改修事業

など・・・

凡例

- 重点区域
- 事業箇所
- 重要文化財
- 史跡
- 伝統的建造物群保存地区